

建物の地震の揺れと被害の見える化 による自助努力支援



齊藤 大樹

豊橋技術科学大学
安全安心地域共創リサーチセンター長
建築・都市システム学系 教授

東日本大震災の教訓

国に防災を任せる「公助」だけではなく、自分の身は自分で守るという「自助」と地域で助け合う「公助」によって災害を減らす取り組みが必要

自助努力の難しさ

たとえば

- 何が起きるかイメージがわからない
- 避難訓練や水・食糧の備蓄の前に建物は大丈夫だろうか？
- 超高層マンションに住むのが不安で夜も眠れない



設計者

法の範囲で安全を担保
(余計な説明はしない)



居住者・
建築主



研究者・
技術者

大地震が来たら建物は大丈夫？

最新の知見で、情報を与える
脅かさない、決めつけない

ワークショップ
で意見交換

